

CU東京の新規組合員 加入続く

6月の大会後の組合新加入者は10人です(7月7日現在)。組織数は180人を超えて、200人のままであと一歩になっています。

この間、「CUみなと」が結成され、支部の結成を確実に結成しつつあります。

地域でのビラ宣伝の効果もまだ一部地域ではありますが表れています。メールによる問い合わせが三件あり、1人加入となりました。いま組合員を増やす状況にあります。2010年度、CU東京の組織拡大の運動を大いにすすめていきましょう。

参院選民主惨敗 労働者派遣法の抜本改正を

7月11日の参議院選挙結果は、民主党惨敗、自民の回復となって、参議院の与野党勢力は与党の過半数割れとなりました。

一カ月前、内閣支持率10%台へと急落した鳩山政権に代わり、菅政権となりました。菅首相は「政治とカネの問題」は決着がついたとし、普天間基地問題も鳩山政権が行なった日米合意を尊重する姿勢を言明しました。選挙直前には法人税減税・消費税率10%への引き上げ発言をおこなったため、国民の反発を広げる結果となりました。

選挙後の情勢は、消費税増税問題、社会保障制度の改悪など、暮らし・経済の問題は待ったなしとなっています。とりわけ雇用問題は深刻です。

財界の意向に沿った労働者派遣法「改正案」は、前国会では採決されないままになっています。非正規労働者をはじめ組合未加入の労働者の働く条件を守らせることから、労働者派遣法の抜本改正を勝ち取りましょう。厳しい国会情勢ではありますが、最低賃金1千円以上の運動とともにたたかいを強める必要があります。



「CUみなと支部」結成大会

6月25日、コミュニティ・ユニオンみなと(CUみなと)が誕生しました。結成大会には、CU東京の役員で東京地評副議長の平山さんや港区労連議長の池田さんが来賓として出席し、あいさつをいただきました。また、江東一般労組からも川村さんと中村さんが参加され、激励・連帯のあいさつをいただきました。

港区には約90万の人が働き、大企業本社が集中している地域でもありますが、中小零細企業(従業員300人未満)で働く労働者は約60万人です。しかも、大企業に比べて中小企業での組織率は低いのが現状、派遣労働者も多く働いていると思われます。

こうした港区の状況のなかで主に非正規労働者を対象にした新しい組合・CUみなとの誕生は大きな意味を持つものです。

CUみなとは、昨年6月にコミュニティ・ユニオン東京(CU東京)が誕生したことを機に港区労連が、定期大会などで討議し、「CUみなと(仮称)」の結成をめざし取り組みを強化してきました。4月には「準備会」を立ち上げ、都営団地などへの加入宣伝を行いながら3回の準備会を経て、「CUみなと」が結成されました。

7月30日にはJR田町駅三田口で宣伝行動を計画しています。

結成大会で選出された新役員は以下のとおりです。(敬称略) 委員長:鈴木 功 副委員長:青木一夫 川崎 悟 書記長:高橋 孝 書記次長:村松高広 執行委員:6人

以上、文責:書記長 高橋孝

都心港区にCU東京の灯がともる